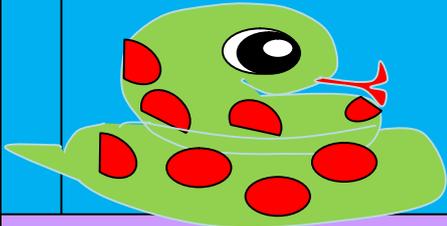


水ときらめき紀の川館に団体の来館者 がありました 流水調整課 H.25.11.15



本局主催の現場見学会「見せる！現場」において、紀の川大堰管理所に石川県建設技術協会が来られました。当事務所から流水調整課宇田課長と吉川非常勤職員の2名が対応しました。その中で、紀の川大堰の技術的特長を説明しました。参加者からは、紀の川大堰の様々な構造、特徴を把握することができたという意見をいただきました。

団体見学概要

日時:平成25年11月14日(木)
14:30~17:00

会場:水ときらめき紀の川館

参加人数:18名

団体名:石川県建設技術協会

1.紀の川大堰概要説明

事業概要、紀の川の概要、川になるまで、紀の川大堰の構造、環境保全対策、紀の川大堰の本体や魚道の整備効果についてスライドを用いて宇田課長が説明



2.館内展示物の見学



紀の川大堰のゲートに使用された水密ゴムの特徴について説明を聞いている様子

3.呼び水水路、3つの魚道、フロート式ゲート、機械室を見学



呼び水水路の構造、特徴を説明している様子



人工河川式魚道の構造を把握している様子



デニール付バーチカルスロットル式魚道の構造、特徴を聞いている様子



フロート式ゲートで浮力の構造を説明している様子



フロート式ゲートの機構の説明を聞いている様子



機械室にて、ドラムの説明、開閉装置、点検の方法の説明を熱心に聞いている様子

感想

- ・日本唯一の事業が多いので、もっとアピールすべきだと感じた。
- ・今度は、魚道で魚が上っている時に来たい。
- ・堰の歴史がとても印象的である。
- ・農林や地元住民、漁業の方々との交流が課題点だと感じた。
- ・このような大規模な魚道は他の所では見られないのでとてもすばらしいと感じた。



アンケート記入